

平成24年8月20日

報道機関 各位

北九州地域産業人材育成フォーラム
(事務局／(公財)北九州活性化協議会)

地域の中堅中小企業と地元理系学生を繋げる地域連携型インターンシップ始まる。
—産学官が一丸となって取り組む北九州独自の産業人材育成事業—

北九州地域では、大学・高専卒業生の地元定着率の向上や中堅・中小製造業における研究開発を担う人材の育成・確保をはかるために、昨年、産学官による「北九州地域産業人材育成フォーラム」を設立し、地域が一丸となって事業を推進する地域システム創りを始めました。

その中核事業である今年度の「地域連携型インターンシップ」がはじまりました。

北九州地域の中堅・中小企業の生産現場をステージにして産学協働で人材を育成する新しい教育システムである本事業を通じて、大学・高専と地域産業界の交流を促進し、地元理系学生の社会人基礎力の向上、地域企業の経営革新機会の創出と認知度の向上を図ることを目的にしています。

個々の学校別に行う一般的なインターンシップではなく、北九州活性化協議会に事務局を設け、地元大学・高専と企業を統合して地域・横断的に実施する新しい仕組みが評価され、2年目となる今年度は、参加校・学生、受入企業ともほぼ倍増となり、事業の規模、内容共に拡充した実施となりました。

「人づくりのまち・北九州」に向けて産学協働で進める「地域連携型インターンシップ」実施の状況を取材頂き、北九州地域の大学・高専、企業、学生の取り組みを地域社会にご紹介頂ければ幸いです。

※取材をして頂ける場合は、企業と調整し取材のセッティングをしますので、北九州地域産業人材育成フォーラム事務局（(公財)北九州活性化協議会）までご連絡をお願いします。（次頁【問い合わせ先】参照）

1 今年度インターンシップ事業の概要

- 対象企業 北九州地域（北九州市及び近隣市町）の企業・団体など
- 対象学生 九州工業大学（全学部・専攻）・北九州市立大学（国際環境工学部・研究科）・西日本工業大学（全学部・専攻）の学部2~3年生・大学院1年生、北九州工業高等専門学校（全学科・専攻科）の学科4年生・専攻科1年生
- 実施期間 8月中旬~9月末（夏季休暇期間中）の1~3週間（受入企業ごとに異なる）



昨年度のインターンシップの様子

2 今年度インターンシップ事業の特徴

- 大学等、学生、企業とも参加数が昨年度よりほぼ倍増。
 - ・参加大学等 : 3大学1高専（九工大・北九大・本年新規参加 > 西工大・北九州高専）
 - ・参加学生数 : 121名（昨年度59名） ※内留学生4名（昨年度3名）
（内訳）九工大70名、北九大4名、西工大24名、北九州高専23名
 - ・実施企業数 : 57社（昨年度33社）

■ **ガイド CD-ROM の作成や受入内容も工夫を凝らして充実実施。**

フォーラムでは産学官メンバーによる「インターンシップ研究プロジェクト」を組織し、北九州地域の環境を分析、調査し、大学等（学生）と企業が、「Win-Win」となる効果的で充実したインターンシップの受入について研究。その結果をインターンシップ実施ガイド CD-ROM としてまとめ、受入企業や新規受入見込企業に配布した。また、参加企業間の情報交換等を行い、各企業では昨年以上に工夫を凝らした受入内容となっている。

3 北九州独自の地域連携型インターンシップ事業の特徴

■ **地元中小企業への雇用促進等地域の課題を踏まえた取り組み。**

- ・ 学生が地域企業を知ることによる地元定着率の向上や、大学・高専との技術交流・産学連携の促進による地域企業の技術高度化など地域の課題解決を目的としている。

■ **地域企業、地元の大学・高専、行政が取り組む地域一体型システムの開発。**

- ・ 受入企業の拡大、大学・高専でのインターンシップの推進のために、企業経営者・人事担当者や大学・高専教職員を対象とした「産業人材育成セミナー」を実施。（4/5 国際会議場）
- ・ 学生にインターンシップへの参加を促すため「インターンシップ推進セミナー」を各校において実施。（5/16 北九大、5/25 九工大、6/13 北九州高専、西工大は小規模複数回で実施）
- ・ 参加を検討している学生と企業の経営者・人事担当者、コーディネーターによる車座での懇談会「インターンシップミーティング」を実施（6/16 九工大）。学生からの質問、実習内容や企業として学生に期待していること等をフリートークでの情報交換と個別相談を行った。
- ・ 参加学生を対象に「インターンシップ事前研修会」を実施し、事前準備やビジネスマナー、心構えや注意事項の説明を行った。（8/8,9 九工大・他校は個別対応）



産業人材育成セミナーにおけるパネルディスカッション



インターンシップ推進セミナーにおけるインターンシップ参加経験学生によるパネルディスカッション



インターンシップミーティングにおける学生・企業等による情報交換会



インターンシップ事前研修会

■ **地域システムとして運営するため、大学等が単独で実施する場合に比べメリット大。**

- ・ 地域システムとしての一本化により、企業にとっては、1回の受入の申し込みで複数の大学の幅広い学生に告知が可能となり、また、インターンシップを通じた産学連携の可能性が広がる。
- ・ 学生にとっては、実習先企業の選択肢が格段に広がる。また、地域の中堅中小企業のことを良く知ることができ、就職先の選択肢が広がる。

【問い合わせ先】

北九州地域産業人材育成フォーラム事務局（公益財団法人北九州活性化協議会）
電話 093（541）3122（担当／波多野、松尾）